

「静岡県漁業協同組合連合会表敬訪問」

平成28年6月21日（火）、土本南関東防衛局長は、チャーリー水域及び東京都新島南方海面誘導飛しょう体試射水域に係る漁業補償について、静岡県内の関係漁業者の取り纏めをして頂いている静岡県漁業協同組合連合会を表敬訪問しました。



（左：荒川邦夫代表理事会長、右：土本英樹南関東防衛局長）

静岡県漁業協同組合連合会からは、荒川邦夫代表理事会長ほか藪田国之代表理事副会長、田中平八代表理事専務に同席を頂き、土本局長から、制限水域の設定及び安定的使用に対する会長はじめ漁業者の皆様方のご理解、ご協力への謝意を伝えました。

荒川会長からは、上記の2つの制限水域のほか、東富士演習場に関連して静岡県内にある制限水域である沼津乗下船及び積込積下訓練水域も含め、当局とは長きにわたりお付き合いをしていること、また補助事業で漁業施設の整備ができていくことへの感謝、そして「今後とも良好な関係を続けていけるよう、よろしくお願ひしたい。」とのお言葉を頂きました。



終始、和やかな雰囲気の中、静岡県漁業協同組合連合会の資源管理の取組みとしての養殖事業や静岡県内の漁業の状況、また、荒川会長が組合長を勤める沼津市戸田地区の状況や、藪田副会長が組合長を勤める御前崎市のかつおまぐろ船の状況といった、具体的なお話を伺うことができました。